

単位

大学における履修は単位制によって行われます。

1. 単位制について

単位制とは所定の単位数の修得を進級や卒業認定の要件とする制度です。授業科目に定められている単位を在学中に一定の基準に従って履修し、教科担当者が学修状況とその成果を考査のうえ合格判定をすれば単位を修得できます。卒業に必要な単位を満たすと卒業の資格が与えられ学位が授与されます。

2. 単位と時間数

学年度は前学期・後学期の2学期に分かれ、授業は15週ずつ、年間30週実施されます。単位については『短期大学設置基準（文部省令21号）』に1単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することと定められています。本学ではこの規定に基づき、講義科目15時間、演習科目15～30時間、実験・実習及び実技科目30～45時間の授業をもって各々1単位としています。

本学では、45分を1時間として計算しており、実質90分を2時間として取り扱います。1回の授業（90分）を2時間と換算し、これに予習・復習（各2時間）を行うと合計6時間になります。授業回数を半期（前学期又は後学期）15回とすれば、計90時間となり、1単位が45時間ですから2単位の科目となります。つまり予習・復習を含んで単位修得となることを十分留意し授業に臨む必要があります。

講義科目の場合

予習	授業	復習		半期（前学期又は後学期）	
2時間	2時間	2時間	⇒	15回	⇒
1回の学習時間（6時間）				6時間×15回＝90時間	
					45時間＝1単位
					2単位修得

演習科目 30時間で1単位の場合

予習	授業	復習		半期（前学期又は後学期）	
0.5時間	2時間	0.5時間	⇒	15回	⇒
1回の学習時間（3時間）				3時間×15回＝45時間	
					45時間＝1単位
					1単位修得

実験・実習科目（180分開講） 45時間で1単位の場合

予習	授業	復習		半期（前学期又は後学期）	
0時間	4時間	0時間	⇒	12回	⇒
1回の学習時間（4時間）				4時間×12回＝48時間	
					45時間＝1単位
					1単位修得

3. 履修の上限

履修科目として1年間で履修登録できる単位数の上限は、以下のとおりです。

食 物 栄 養 学 科 キ ャ リ ア 開 発 学 科	下記以外	45単位	F：「英語・海外研修」 H：「海外研修Ⅰ～Ⅳ」は除く
	前年度単年度 GPA2.0未満	40単位	
	〃 3.0以上	50単位	
幼 児 保 育 学 科 (2022年度以前入学生)	下記以外	45単位	「海外研修」は除く
	幼二種免許、保育士資格を取得希望する者	60単位	
幼 児 保 育 学 科 (2023年度以降入学生)	下記以外	45単位	「海外研修」は除く
	幼二種免許、保育士資格を取得希望する者	56単位	

重要

「履修登録できる単位数」とは、受講し単位修得できなかった科目も含みます。後学期に追加登録することもできますが、上記科目も含めての上限となります。

履 修

授業を受けて学修することを履修といいます。毎年その年度に履修する授業科目を登録する必要があります。

1. 履修とは

授業を受けて学修することです。

そのために、毎年その年度に履修する授業科目を登録しなくてはなりません。

2. 履修登録

履修登録とは、その年度に履修しようとする授業科目を登録することです。登録後は原則として変更できませんし、履修登録をしていなければ、たとえ受講し期末試験に合格しても単位を得ることはできません。卒業や免許・資格の取得条件に留意して学生各自の責任において誤りのないよう十分注意してください。履修登録は学生各自が責任を持って行うことが原則です。履修登録ミスや確認ミスは各自の責任ですので十分注意してください。

3. 登録方法

本学では、指定期間内に各自でパソコンを使い、Web上で履修科目の登録手続きを行います。Web履修登録はインターネット環境があれば、自宅など学外から手続きを行うことも可能です。

4. 履修登録の流れ

学 期	前学期 履修登録	後学期 履修修正
授業開始前に Web 履修登録	在学生 3月27日(月) 9:00～ 3月31日(金) 13:00まで 新入生 4月4日(火) 9:00～ 4月5日(水) 17:00まで 4月7日(金)	9月19日(火)
授業開始		
変更なし	4月7日(金) 8:00～ 4月13日(木) 23:59まで	9月19日(火) 8:00～ 9月25日(月) 23:59まで
変更有り Webにて履修追加・取消		
履修登録完了	4月14日(金)	9月26日(火)

5. 登録上の注意

- (1) 1年間に履修する全ての科目を登録してください。必修科目・集中講義・学外実習も登録漏れがないように注意してください。
- (2) 各開講科目は、授業の内容、教室設備その他の都合により、受講人員を制限することがあります。
- (3) 履修希望者が一定数を超えた場合は、履修者数を制限したり、クラスを分割することがあります。又、履修者が極端に少ない場合は、クラスの統合や閉講になることがあります。

Column Case 1

ガイド君は月曜1限に選択科目を受講しました。月曜日ですが毎週早起きして、遅刻を1回もせず、試験の代わりに課せられたレポートにも真剣に取り組みました。しかし、8月に該当科目の成績が発表されていないことに気が付きました。「秀」評価をとる自信のあったガイド君は不思議に思い、先生に尋ねたところ、「履修登録していないから、名簿に名前がないよ。これだと、成績もつけられないよ。」と言われてしまいました。

授業を受講して単位を修得するには、定められた期間内に履修登録をする必要があります。履修登録をせずに授業を受講しても、単位は認められません。ガイド君は、卒業するために必ずとらなければならない必修科目ではなかったため卒業延期は免れましたが、来年、また受け直しということになりました。



遠隔授業で取得した単位の卒業要件算入について

令和5年度の授業については、原則対面授業を実施し、対面授業と同等以上の教育効果が見込まれる科目について、遠隔授業を実施いたします。

大学設置基準及び短期大学設置基準により、卒業要件に含めることができる「遠隔授業」で取得した単位数については、大学60単位・短大30単位を超えないものとして定められております。

※令和2～4年度に実施した遠隔授業については、新型コロナウイルス感染症拡大時の特例措置として、単位の上限に含める必要はありません。

上限の対象となる「遠隔授業」は以下のとおりです。

- ・全ての授業時数を、遠隔で実施する科目。
- ・対面と遠隔が混在する科目の内、半数を超える授業時数を遠隔で実施する科目（例えば15回の授業の内、8回以上が遠隔）

上記の基準に該当する科目については、「遠隔授業実施科目一覧」をUNIPAで配信いたしますので、各自確認のうえ、上限単位を超えないよう計画を立てて履修登録を行ってください。

卒業、免許、資格取得

卒業するために、また免許・資格を取得するためには、様々な要件を満たさなければなりません。

1. 卒業

卒業するためには原則2年以上（休学した場合は、その期間を除く）在学し、次表の必要単位数を修得しなければなりません。

食物栄養学科

2013年度以降入学生に適用

区 分	授業科目及び単位数								計
	基礎分野		専門分野						
	教養基礎科目	英語科目	社会生活と健康	人体の構造と機能	食品と衛生	栄養と健康	栄養の指導	給食の運営	
必修科目	1 単位	1 単位	0 単位	0 単位	6 単位	5 単位	6 単位	5 単位	24単位
選択科目	4 単位以上	1 単位以上	30単位以上						38単位以上
	3 単位以上								(注 1)
卒業に必要な単位数									62単位以上

(注1) 複合分野は、卒業に必要な単位（62単位）には含まれませんので注意してください。

キャリア開発学科

2022年度以前入学生に適用

区 分	授業科目及び単位数							計
	基盤分野	教養分野	家政分野	ビジネス分野	語学分野	フィールドワーク類	その他	
必修科目	18単位	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位	18単位
選択科目	2単位以上*	8 単位以上	10単位以上	8 単位以上	4 単位以上	－	－	44単位以上
	12単位以上							
計	62単位以上							62単位以上

*選択必修を含む

選択必修Ⅰ：「コンピューター基礎演習A」及び「文書作成演習」から1単位以上

選択必修Ⅱ：「コンピューター基礎演習B」及び「データ活用演習」から1単位以上

キャリア開発学科

2023年度以降入学生に適用

区 分	授業科目及び単位数							計
	基盤分野	教養分野	家政分野	ビジネス分野	語学分野	フィールドワーク類	その他	
必修科目	20単位	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位	0 単位	20単位
選択科目	－	8 単位以上	8 単位以上	8 単位以上	4 単位以上	－	－	42単位以上
	14単位以上							
計	62単位以上							62単位以上

幼児保育学科

2022年度以前入学生に適用

区 分	授業科目及び単位数					
	基盤分野	教養分野	保育基礎分野	保育応用・実践分野	実習分野	計
必修科目	8 単位	0 単位	12単位	0 単位	0 単位	20単位
選択科目	－	6 単位以上（注2）	－	－	－	42単位以上
	36単位以上					
卒業に必要な単位数						62単位以上

（注2）「英語コミュニケーションB」又は「英会話」のいずれか1単位以上を含む。

2023年度以降入学生に適用

区 分	授業科目及び単位数					
	基盤分野	教養分野	保育基礎分野	保育応用・実践分野	実習分野	計
必修科目	8 単位	0 単位	13単位	0 単位	0 単位	21単位
選択科目	－	6 単位以上（注3）	－	－	－	41単位以上
	35単位以上					
計	－					62単位以上

（注3）「英語コミュニケーションB」又は「英会話」のいずれか1単位以上を含む。

2. 免許・資格取得

免許・資格の取得を希望する学生は、卒業の要件と併せて、免許・資格に必要な単位を修得する必要があります。（開講科目表参照）

また、学外実習等には次のような履修の制限があり、これを満たしていない場合は、学外実習等を行うことができません。

〔学外実習等の履修制限〕

食物栄養学科

2013年度以降入学生に適用

2年次の校外実習（栄）

実習実施前年度までに、下表の科目32単位のうち「栄養学実習Ⅰ」を含めて、**20単位以上**修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
生理学	2	基礎栄養学	2	給食計画・実務論	2
解剖学	2	応用栄養学	2	調理学	2
基礎生化学	2	栄養生化学	2	入門調理学実習	1
食品学	2	栄養学実習Ⅰ	1	基礎調理学実習	1
食品材料学	2	栄養学実習Ⅱ	1	実用情報処理・実習	1
食品衛生学	2	食事摂取基準・献立論	2		
食品学基礎実験	1	栄養指導論Ⅰ	2		

2年次の「フードスペシャリスト論」履修（F・S）

2年次に「フードスペシャリスト論」を履修しようとする者は、1年次のGPAが1.5以上でなければなりません。

Column Case2

2年生のガイド君、卒業に必要な残りの単位をしっかりと確認し、履修登録も完了しました。しかし、後学期に1科目不合格になってしまい、単位修得ができず、その結果、卒業要件単位不足で、卒業することができませんでした。

卒業要件ギリギリの単位数で履修登録してしまった結果、1科目不合格になっただけで、卒業に必要な単位が不足してしまいました。卒業要件まで確認して履修登録を完了したのに、もったいないケースです。余裕のある履修登録を心掛けましょう。



幼児保育学科

2023年度以降入学生に適用（23C）

2年次の教育実習（幼）

実習実施前年度までに、下表の科目27単位の中から19単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	教育課程総論	2	保育内容表現（造形）	1
健康・スポーツ科学A	1	教育方法学	2	特別支援教育基礎	1
健康・スポーツ科学B	1	保育内容健康	1	基礎器楽2※	1
情報処理A	1	保育内容人間関係	1	基礎声楽2※	1
情報処理B	1	保育内容環境	1	幼児と言葉	2
教職入門	2	保育内容言葉	1	発達心理学A	2
教育原理	2	保育内容表現（音楽）	1		

※実習実施前年度までに「基礎器楽2」「基礎声楽2」を必ず履修しなければなりません。

2年次の保育所実習A（保）

実習実施前年度までに、下表の科目19単位の中から15単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康・スポーツ科学A	1	教職入門	2	保育内容環境	1
教育課程総論	2	乳児保育A	2	発達心理学A	2
子ども家庭福祉	2	子どもの保健	2	教育原理	2
保育原理A	2	保育内容人間関係	1		

2年次の保育所実習B・施設実習（保）

実習実施前年度までに、下表の科目33単位の中から26単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康・スポーツ科学A	1	子ども家庭福祉	2	保育内容表現（音楽）	1
健康・スポーツ科学B	1	社会福祉	2	保育内容表現（造形）	1
教職入門	2	社会的養護A	2	乳児保育A	2
教育課程総論	2	子どもの保健	2	乳児保育B	1
保育原理A	2	保育内容健康	1	特別支援教育基礎	1
教育原理	2	保育内容人間関係	1	基礎器楽2	1
保育内容総論	1	保育内容環境	1	基礎声楽2	1
発達心理学A	2	保育内容言葉	1		

2022年度以前入学生に適用（22C）

2年次の教育実習（幼）

実習実施前年度までに、下表の科目30単位の中から21単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本国憲法	2	教育原理	2	保育内容表現造形A	1
健康・スポーツ科学A	1	教育課程総論	2	音楽Ⅰ器楽※	1
健康・スポーツ科学B	1	幼児指導方法論	2	音楽Ⅰ声楽※	1
国語表現法	2	保育内容健康	1	発達と学習の心理学	2
数学概論	2	保育内容人間関係	1	発達心理学A	2
情報処理A	1	保育内容環境	1		
情報処理B	1	保育内容言葉	1		
教職入門	2	保育内容表現音楽A	1		

※実習実施前年度までに「音楽Ⅰ器楽」「音楽Ⅰ声楽」を必ず履修しなければなりません。

2年次の保育所実習A（保）

実習実施前年度までに、下表の科目20単位の中から16単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康・スポーツ科学A	1	教職入門	2	保育内容環境	1
教育課程総論	2	乳児保育A	2	発達心理学A	2
子ども家庭福祉	2	子どもの保健	2	教育原理	2
保育原理A	2	保育内容人間関係	1	造形基礎	1

2年次の保育所実習B・施設実習（保）

実習実施前年度までに、下表の科目36単位の中から29単位以上修得しなければなりません。

授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康・スポーツ科学A	1	造形基礎	1	保育内容表現音楽A	1
健康・スポーツ科学B	1	社会福祉	2	保育内容表現造形A	1
教職入門	2	社会的養護Ⅰ	2	乳児保育A	2
教育課程総論	2	発達と学習の心理学	2	乳児保育B	1
保育原理A	2	子どもの保健	2	特別支援教育基礎	1
教育原理	2	保育内容健康	1	音楽Ⅰ器楽	1
保育内容総論	1	保育内容人間関係	1	音楽Ⅰ声楽	1
発達心理学A	2	保育内容環境	1		
子ども家庭福祉	2	保育内容言葉	1		